

(福)足近保育園会

羽島市・乳幼児保育

従業員数／男性5名 女性34名 計39名 ※令和6年11月現在

エクセレント POINT

- ①配置基準を上回る余裕を持った人員体制
- ②時間単位の年休取得が可能で休みを取得しやすい環境を実現
- ③所定外労働時間が少なく仕事と家庭を両立しやすい職場環境



2024年11月現在、子ども141人・職員39人。

0～6歳までの乳幼児を預かる足近保育園は、2010年から人員配置基準を上回る職員を配置し、複数担任体制をとっている。現在は17人必要なところ、実人員は26

人。そのため、一人ひとりが希望のシフトを選択でき、70%以上という高い年休取得率も実現。所定外労働時間も月に4時間未満と低く、仕事と家庭を両立しやすい環境が整った。2人の子を持つ栄養士の今西沙代さんも「人数が少なかつた時は、子どもが熱を出しても職場を抜けにくかったが、今は倍の人数がいるので安心して休みが取れる」と話す。

このため、取組みを始めた11年以来、正職員の離職者は介護的理由とした1人のみ。出産・育児を理由とした離職者は08年の開園当初からゼロを続けています。

北川山治理事長は「両立支援をしっかりとすることで、人材の確保につながり、職員が働きやすくなるだけでなく、大勢の職員がいれば、子どもや親も安心できる。多くの保育士による質の高い保育サービスによって、園児が集まり経営も安定する」と話す。実際、園児の数は開園時の79人から、24年11月現在で141人まで増加している。

保育士の前田栄子さんは「園行事と自分の子どもの行事が重なっても、優先して休みを取ってくれる。家庭と仕事を両立できるのがうれしい」と語る。園児の増加に対応していく構えだ。

余裕ある人員で保育士確保



保育士の前田栄子さんは「園行事と自分の子どもの行事が重なっても、優先して休みを取ってくれる。家庭と仕事を両立できるのがうれしい」と語る。